

浜コ三協だより

第13号

この広報誌は新潟市の地域活動補助金を受けて発行しました。

「子供の松林」着々と整備

環境・整備部会 部会長
家坂 博幸

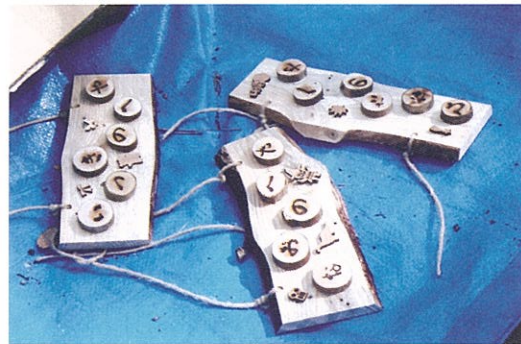
海岸に向かって浜浦小学校の右側道路を登っていくと右側のフェンス越しに、松と常緑広葉樹の混合林があります。

この松林を「子供の松林」と呼んでおります。以前は強靱な繁殖力をもつ、ニセアカシア群と背の高い、木化した雑草が繁茂したジャングルで人が入れない状態でした。そこを子供達が安心して遊べる松林にしようと平成24年から整備がスタートしました。

見通しがよい森、子供たちが走っても、つまずかない、切



木工教室開催



作製した子供部屋の表札

株のない森、子供たちが休息できる、やわらかな草地の森を目指しました。

まず、中央区建設課に、混在するニセアカシアの伐採を、次はNPO法人「阿賀の会」に、ニセアカシアの根株の除去をお願いしました。その後は、環境整備部が主体になって、雑草の刈り取り作業とニセアカシアの根つ子取りを忍耐強くおこなってきました。ニセアカシアの根も少なくなり、雑草の種類も柔らかいものに変まりました。
平成26年には「関屋浜清掃」



ガールスカウト全員集合

の時、80名ほどのグループがこの松林に入って、蔦取りや小枝取り等をしてくれました。整備が始まって3年後、平成27年10月に、新潟地域緑化推進協議会の協力を得て、再生された「子供の松林」でブルーシートを敷いて、木工教室を開きました。隣の「ネムの森」で採取した材料を使って、子供部屋の表札など作製して楽しんでもらいました。

平成28年5月には、市内のガールスカウトの皆さんが、たくさん集まって、整備を手伝つ



ガールスカウトによる松林整備

た後、松林の中をかけっこして遊んでいました。子供達の元気な声が松林のなかをこだまして、松林に住む昆虫や小動物もびつくりしたことでしょう。
早朝5〜6時頃、除草作業をしていると、周りの遊歩道を散策したり、ジョギングしている人から「御苦労さまです」と声を掛けられるようになりまし。防風林としての役割を維持しながら、爽やかな、そよ風と木漏れ日の下で、子供たちが元気に遊んでいる姿を思い描きながら、整備を続けています。

会長に 着任してからの思い

会長 渡部 俊尚



渡部 俊尚

みなさんこんにちは、浜コミ協の会長になって、はや2年を経過することになりました。当初は会長になつたら、あれをしよう、これをしようと考えておりましたが何もできずに日々の仕事をこなすのが精一杯でした。

前回のコミ協だよりには、地域にサロンを作つて、地域にお住いの方々が気楽に集つて、おしゃべりしたり、ボランティアの方々から歌やおどり等をしていただき一時を過ごせばと思いい、色々動いたのですがそれもままならず残念な気持ちでした。任期2年間があつたという間に過ぎて後悔の思いのみがずつしりと体にかかつておりました。次期の会長にはもっと優秀な方に着任していただき、浜コミ協をもっと盛り上げていただければ幸いと思つております。

平成28年度総会報告

副会長 大堀 隆夫



大堀 隆夫

平成28年度の総会が、4月27日(水)午前9時30分から関屋地区公民館内の集会室で開催され、渡部会長を議長に選出後総会議事に入りました。

議案承認の件の内第4号議案について。

◆第4号議案 平成28年度事業計画(案)承認の件

- ・総務部会
 1. 総会
 2. 定例会
 3. 広報紙
 4. 地域活動集会
- ・環境整備部会
 1. 環境美化事業、関屋浜、ネムの森、母の森、整備・清掃
 2. 海浜植物園土壌調査及び植樹の具体化検討
- ・福祉・教育部会
 1. 浜浦小教育コーディネーター助成事業
 2. 新生児と母親との親睦会、ひなたぼっこの会、浜小見守りたい
 3. 地域包括ケアシステム制度勉強会

- ・文化・スポーツ部会
 1. 三校合同演奏会
 2. 新潟シテイマラソン支援ボランティア参加
 3. フロアカーリング大会、トリットボール大会
- ・防災部(防犯・防火)
 1. 防火連合会、防犯協会連合会、地区会長会議各総会
 2. 防火グッズ用品配布
 3. 避難所体験(於関屋公民館)
- ・日赤浜浦分団
 1. 総会、役員会出席

◆第5号議案 平成28年度収支予算(案)承認の件

収 入			支 出		
項 目	金額(円)		項 目	金額(円)	
市助成金	運営助成金	716,000	市助成金	総務部会	88,000
	地域活動補助	290,000		広報紙	220,000
自己調達資金	会費	160,000	自己調達資金	環境整備部	20,000
	防火防犯費	88,117		文化スポーツ	51,000
	古紙行政収	150,000		防災部会	10,000
	日赤交付金	64,000		事務運営費	87,000
	利息	13		手当費	240,000
	繰越金	791,743		演奏会等	290,000
				文化スポーツ	40,000
		福祉・教育	55,000		
		防災部会	88,000		
		事務運営費	115,000		
		予備費	955,873		
合 計	2,259,873		合 計	2,259,873	

中央区長との意見交換会

総務部会長 大澤 尚

地域包括支援センターのご紹介

新潟市地域包括支援センター 関屋・白新 笹岡 優奈

昨年、10月26日、関屋公民館集会所にて石塚中央区長を始め担当課から6名の出席を頂き浜コミ協との意見交換会を開催。当協会の9自治会等から要望書が提出されました。

要望した自治会会長が順番に内容を説明し、それに区長又は担当課が回答する形を取りました。要望項目は全部で18程でした。主なものは、一、適度な町内会の規模について、二、新潟シテイマラソンの意義・目的・決算報告、三、中央区役所の移転等の大きな問題については事前に出席者に情報を、四、地域包括ケアシステムについて組織等によって説明が異なる、五、民生委員の後任について、六、公道に枝が出て通行に支障七、区民協働森づくり、八、関屋行政サービスの在りかた、九、関屋公民館の在りかた、十、公園内に高齢者向け器具の設置、十一、通学路の横断歩道等のマーキングが消えている、十二、災害時の要援護者支援について、十三、汐見台団地の住宅の老朽化について、十四、市道の草取り、十五、宮前通のBRT路線のバス整備、十六、BRT導入の効果等の要望事項がありま

した。ここで注目したのは、汐見台団地の住宅の件で、これは8月に浜コミ協に話があり、新潟地震後の住宅で老朽化が著しいというものでした。今一つは、宮前通のBRTのバス停の整備です。これは、前年度要望して行する前に整備されるものではないです。本来自治会長さんや話されておりました。汐見台の件については区当局の一日も早い対応を願いたいと思えます。又、宮前通のBRTのバス停の件については担当課が地元丁寧な説明をする必要があると感じました。



中央区長との意見交換会

当センターは、新潟市より65歳以上の高齢者の相談窓口として委託を受け、平成21年4月に誕生しました。今年で8年目となり、少しずつですが地域の皆様に浸透してきていると感じています。場所は関屋大川前にある高齢者施設「関屋おもと園」の1階で、6名の専門職員が連携しながら対応しています。関屋中学校と白新中学校の学区を担当しているために、包括支援センター「関屋・白新」という名前が付いています。



私達が相談事に対応します

役割としては、関屋・白新地域にお住まいの高齢者の皆様やそのご家族が、住みなれた地域でいつまでも自分らしい生活をしていただけのように、様々な相談を受け、必要な支援に繋いでいくことです。生活のことや健康のことなど、どんな相談でも受け付けていますが、中心となるのは介護保険制度についての相談です。一人暮らしですが買い物に行くことが難しく困っている“入浴時に浴槽を跨ぐのが怖くなってきたためデイサービスで入浴したい”、認知症があり家族の負担が増えてきている“…など、高齢となり生活に不安が出てきた方に対し、介護保険制度の説明や申請を行っております。

他にも、健康寿命を延ばし要介護状態にならないようにする介護予防や、オレオレ詐欺などの消費者被害、高齢者虐待などから高齢者の権利を守る取り組みも大切な業務です。

高齢者ご本人やそのご家族、地域の方でも、高齢者に関するご相談があるときにはまずお電話いただきたいと思います。

住所…新潟市中央区関屋大川前
1-2-36
(関屋おもと園 1階)
電話…025-231-5659

平成28年度浜コミ協部会報告

地域活動ふれあいの集い（パネル製作）では昨年1月8日に新潟ユニゾの1月8日に浜コミ協のパネル・広報誌の展示をしました。これは各コミ協の情報交換の場でもあり有意義なものでした。



浜コミ協紹介パネル

総務部会の年間行事の主なものは定例会、広報誌発行、地域活動ふれあいの集い（パネル製作）等であり、何となくも広報誌発行が難事業であると思っておりました。大勢の方のご協力なしに広報誌はできません。又、毎年編集方針を検討しては時間の無駄です。そこで、編集会議に於いて基本的な編集スタイルを確立したらどうかという提案を致しました。協議の結果基本的な編集方針は一面に浜コミ協の特徴的な行事、会長の挨拶はその次に、区長との意見交換会・各部会報告・その他は従来通りに掲載という方針になりました。但し、以前に掲載のない一、浜コミ協の会計報告 二、浜コミ協の組織図を追加掲載すること致しました。今後、編集される方の参考になればと思っております。

「健康体操・歌や踊り・民話や落語」全員で観賞したり、行ったり。和気あいあひと行っています。ぜひお越し下さい。



「ひなたぼっこ」の会 実施風景

地域での「支え合いのしくみづくりを」！
地域で活動する「浜浦小」教育コーディネーター事業・見守りたい事業「新生児・母親との親睦会」「地域のふれあいサロン」への助成協賛等を行いました。また、介護保険制度改正に伴う「地域の支え合いのしくみづくり」の勉強会を実施しました。
その中で、毎月開催の地域のふれあいサロン「ひなたぼっこ」を紹介いたします。

ひなたぼっここの会
開催日.. 毎月第2金曜日
場所.. 関屋コミュニティハウス
参加費.. 100円(茶菓子代)

災害発生時の備えに対する現状は以下の通りです。
平成28年は、地震や台風等、災害により多くの人的被害がありました。災害は、いつ、どこで起こってもおかしくない状況です。このような災害が発生した時に新潟市等の自治体に対応するのは不可能です。
新潟市内の各自治会では、地域による自主防災組織を結成しています。
浜浦地区は、16自治会のうち、6自治会が組織を結成しています。私が所属する松波町三丁目町内会では、年一回、情報収集伝達訓練や初期消火、心肺蘇生法、アルファ化米の炊き出し訓練を行っています。



防災訓練の様子



大澤 尚

総務部会報告

部長 大澤 尚



山口 信三

福祉・教育部会報告

部長 山口 信三



櫻井 一甫

防災部会報告

部長 櫻井 一甫

平成28年度浜コミ協部会報告



家坂 博幸

環境・整備部会報告

部長 家坂 博幸

(一) 海浜植物園の整備計画
これまで3年間で「汐見台住宅地跡地」に1760本の松苗を植樹して、順調に生育しております。次の対象は隣りの県営アパート地になりますが、まだ多くの人が住んでおられませんので、植樹計画は海浜植物園に移ります。昨年春、中央区役所は専門業者に植生や地質調査に加え、今後の整備計画を委託しました。そして、8月に開催されました「第5回汐見台エリア活用連絡協議会」で、その内容が発表されました。
①木道はそのまま活用する
②貴重な海浜植物は花壇ゾーンに集約して育成する
③防風対策として、林帯巾50㍍70mを目途に、住民生活圏から海岸に向けて、クロマツを植樹する。植樹は来年度からスタートする予定となっております。

おりますので、その時は地域の方々の参加をお願い致します。
(二)「子供の松林」整備
(1ページを参照願います)
(三) 講演「森づくりとボランティアの心」
新潟市青少年育成協議会の会長・事務局研究会(10月24日、黒崎会館、出席者約80名)で講演を依頼されました。
これまで、中央区、NPO、その他の団体と浜浦地域で協働で行ってきました。森づくりと子供達への啓発活動についてお話しをいたしました。



海浜植物園の現状風景

小学生器楽部(浜浦シンフォニー)、関屋中学校・吹奏楽部、日本歯科大・軽音楽部による「浜コミ協合同演奏会」を企画して早8年。本年度は来場者や出演者を合わせて450名以上の参加を得て、9月25日に開催されました。終了後の来場者のアンケートでは、「感動した。」「楽しかった。」「来年も楽しみにしている。」「などの感想が多く聞かれ、地域に密着した事業として成功裏に終わりました。なお、コーラス部の参加や高校生参加などを要望する意見もありましたが、時間的制約などから実現できていません。今後の検討課題です。(詳細を6ページに記載しました)。
10月9日に行われた「新潟シティマラソン」のボランティアには、本年度は初めて関屋中学校陸上部の皆さんの



田村 良三

文化・スポーツ部会報告

部長 田村 良三

参加があり、総勢99名で行われました。中学生は給水を担当しました。が、的確に対応するのと同時に、大きな声でラナーに声援を送るなど、一生懸命やっていたいただきました。来年度からは新たなコースで開催されますが、新コースも浜浦校区内を通過する予定です。来年度もより多くの中学生が参加され、活躍されることを期待します。
その他に「浜浦ふれあい運動会」「フロアカーリング大会」(詳細を7ページに記載しました)を行いました。



活躍するボランティア中学生

平成28年度浜コミ協重点事業報告

暑さでバテそうになったキャンプでは、子どもたちがテントを立て、キャンプファイアーで盛り上がり、寒さ暗さ不便さに耐えなければいけない避難所体験事業では、パーティーションづくり、災害食づくりなどに子どもたちが一致団結しました。それぞれの感想文には、「キャンプファイアーで楽しかったこと、みんなとテント立てたことが楽しかった」、「暗い中みんなできょうりよくして夜ごはんを作ったことがたまたまになった」などが寄せられました。避難所体験事業には、関屋小学校と有明小学校の協力をいただき、各協力が協力をいただきました。各



阿部 裕子

はじめての「キャンプ」と「避難所体験事業」を開催して

関屋地区公民館 阿部 裕子

「子どもたちの真剣に参加する様子を見て、開催した効果は高かったと思う。今後、避難所運営を学校内で考えている。自信につながった。」、「パーティーションづくりなどには、事前のヒントがあってもよいのでは。集団行動ができたのはよかったです。」など、好意的に受け止めていただけました。様々な学びを得て成長する子どもたちに、地域一体となってこれからのような機会を作っていきたいと思えます。



キャンプ体験会での食事風景



避難所体験会での受付風景

「健康寿命」を伸ばすには！
近年「健康寿命」という概念が注目されています。健康寿命とは、健康上の問題がない状態で日常生活を送れる期間のことです。2010年の調査によると新潟県民の健康寿命は男性が69・9歳(全国36位)、女性が73・8歳(全国23位)であり、男性は低位に位置しております。

これら健康寿命を伸ばすには、適度な運動、規則正しい食事、心の健康などが必要と言われています。特に「運動器の障害」が健康寿命を短くする最大の要因となっております。

文化スポーツ部は、地域の皆さんのこれら健康寿命を伸ばす一助にもなればと考えて、活動しています。

7月9日に行われた「浜浦ふれあい運動会」は、以前行われていた「親子リクリエーション大会」に代わり行うこととなりました。県のリクリエーション協会の方の指導のもと、参加された児童・父兄など150名を4チームに分け、チームごとに競わせながら、いろいろなゲームを皆で楽しみました。特に4チームの代

表10人ずつにより同時に綱を引く綱引きは圧巻でした。運動会の最後には皆が参加するパング食い競争で盛り上がりました。

「フロアカーリング」は、小学生から年配の方まで気軽に楽しめるように考案されたスポーツです。大会は小学生62名と父兄など30名が参加して10月13日に行われました。小学生を低学年と高学年のブロックに分け、8チームずつの予選リーグを行いました。ゲームは3人の代表によるミニゲームとしましたが、最後にターゲットをたたき出してしまい、大逆転負けするチームがあるなど、各ゲームとも熱気と歓声につつまれていました。しかし熱戦が続いたため、予想以上に時間がかかってしまい、順位決定リーグ戦は行えない状況となってしまいました。

皆さん、身体を動かし、健康寿命を伸ばすよう努めましょう。



浜浦ふれあい運動会の綱引き風景

平成28年度浜コミ協重点事業報告

第8回浜コミ協合同演奏会、過去最高の来場者!!

地域とのつながり大切に

浜浦シンフォニー 顧問 鳥谷 理恵子

9月の秋晴れの中、第8回浜コミ協合同演奏会が行われました。4月から、関屋小学校と有明小学校と浜浦小学校の生徒も加わり、伝統ある浜浦小学校器楽部がさらに、パワーアップしました。当日は、「2015ベストヒットメドレー」「ラプソディインブルー」等全4曲を楽しく演奏することができました。週二回のクラブ練習では、難しいですが、後日のアンケートにあったように「もっと聞きたかった」「曲数を増やして欲しい」という要望に応えられるように又来年頑張っていきたいと思えます。事務局の皆様には、準備等で大変お世話になりました。特に当日の本番では、多くのスタッフの方々に支えられ安心して楽しく演奏することができました。これも、学校と保護者と地域の方々との三位一体となつて、皆さんに親しまれるクラブを目指してまいります。



浜浦シンフォニーの演奏

地域の皆様の声を励みに

関屋中学校吹奏楽部 顧問 小島 美香子

今年も出演させて頂いたいただき、ありがとうございます。後日アンケートを見させて頂いたが、関中吹奏楽部への励ましの言葉や励ましの言葉をたくさんいただきました。ありがとうございました。

日頃学校の中だけで活動をしていまして、見えないことも多々ありますが、このような生の声を聞かせていただきありがとうございます。改めて地域の皆様のおかげです。改めまして今年度は暖かさを感じました。今年度は部員の人数が多かったため、進行がスムーズに行くか心配でした。しかしスタッフの皆様のご努力で予定どおり進めることができ、また生徒たちも気持ちよく演奏することができました。本当に感謝いたします。最後の全員合唱の時の会場の皆様の笑顔、そして年代を越えたやさしい歌声は、とても心に残りました。

また来年もよろしく願います。



関屋中学校の演奏

大学バンドの安定期到来

日本歯科大学新潟生命歯学部教授 軽音楽部顧問 五十嵐 勝

今年は五十嵐&桑原バンドとヴォーカル入りの若手研修医バンドの2つで参加しました。いずれも軽音楽部とPMAのOBが中心で、ドラムには現役学生に加わってもらいました。

若手バンドは今年の春に卒業後、現在臨床研修医として新潟病院で治療に携わっています。来年から大学院に進学するので、来年以降の数年はバンド構成に悩まずに済み、安定期に入りました。ヴォーカルを含んでいますので、コンサートに参加される聴衆の皆様にも馴染みのある曲をお送りできると思っています。

今年も桑原先生の三線をお披露目し、新しい雰囲気味わって頂きました。大変に好評で、皆様からお褒めの言葉を頂戴し感謝しております。

30分の短いステージのため、楽曲数とトークの長さには毎年悩みますが、今年も楽曲を多くしてみました。来年はもう少しトークを入れたいと思えます。来年も宜しくお願いします。



日本歯科大学の演奏

「浜浦小学校見守りたい」に感謝

浜浦小学校 教頭 新田見 誠

平成28年度「浜浦小学校見守りたい」には、59名の方々が参加してくださっています。主な活動内容として、2つのことがあります。1つは子どもたちの通学時間帯に、子どもたちの通学の様子を見守ってくださることです。もう1つは、見守りたいの方々が、時間と場所を決めず、都合の良いときにパトロールしてくださいということです。地域の方々から、子どもたちの安全を見守っていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。最近、次のような子どもの方を見かけました。見守りたいの方の名前を覚えた子どもが、「○○さん、おはようございます。」と挨拶をして手と手を合わせてハイタッチする姿です。2人とも笑顔いっぱい、まわりで見ている人もあたたかい気持ちになります。

今後、地域と学校とが連携して、子どもたちを育てていけたらと思っています。

耳よりな話シリーズ その4 雨水排水無人ポンプ場

家坂 博幸

関新2丁目には、地上2階、地下3階の立派な建物があります。しかし、人の出入りもなく、物音もしません。実は平成16年7月に完成した、無人のポンプ場です。このポンプ場のおかげで、浸水常態地域の白山、関屋(浜浦)全地域の危険度が激減しました。ポンプ場ができる前、筆者は、越後線ガード下で、集中豪雨による浸水で廃車した苦しい思い出があります。



関新ポンプ場

平成28年度浜コミ協組織

会長	渡部 俊尚	印役員	
副会長	大堀 隆夫		
監事	濱田 芳男	佐藤 敏夫	
事務局長	三添 敬市		
総務部会	大澤 尚	全会員	
環境整備部会	家坂 博幸	濱田 芳男	
	影山 朝子	阿部 和江	
福祉・教育部会	山口 信三	渡部 俊尚	後藤 一雄
文化・スポーツ部会	田村 良三	中静 浩一	小林 勇
防災・防犯・防火部会	櫻井 一甫	大堀 隆夫	榎谷 努
浜コミ協担当市職員	真島 理	阿部 裕子	佐藤 香穂里
			林 叡秀
			池田 伸一



浜コミ協会員

新任民生児童委員

渡部 俊尚

任期3年の一斉改選があり、平成28年11月、浜浦地域では再任14名、新人4名の方が厚生労働大臣より委嘱されました。

編集後記

編集長 大澤 尚

広報誌の原稿の依頼をされた方々には大変なご協力を頂き誠に有難うございました。お陰様で無事浜コミ協だより第13号が立派に発行できました。感謝申し上げます。

初めての広報誌の編集という事で不安がいっぱいでした。与えられた原稿は三種類そして全て文字数が制限されています。文才もなく何度書き直したかわかりません。皆様のご苦勞をご推察いたします。一部白地を多くして読みやすくしたつもりです。

事務局長の三添さんには色々ご指導有難うございました。